

平成30年度 布勢小モデルカリキュラム 第6学年（国語・総合的な学習の時間）

指導時期		国語（8時間）			学校図書館活用（○担任◆司書教諭◇学校司書）			総合的な学習の時間（10時間）		
学期	月	単元	めあて・単元目標	学習活動の概要	情報リテラシー観点	活用場面・方法	活用する資料等	学習活動の概要	めあて・単元目標	単元
1	6	投書デビューをしよう（8時間）	<p>○投書の特徴をとらえ、進んで書き手の意見や理由づけの工夫を読み取り、投書を書く時に活かそうとする。 【関・意・態】</p> <p>○投書の構成、理由や根拠の挙げ方に気を付けて読み比べ、書き手の工夫をとらえることができる。 【読むこと】</p> <p>○自分の考えが読み手に伝わるように、意見や理由を明確にして投書を書くことができる。 【書くこと】</p> <p>○投書の文章の構成や書き方を理解する。 【伝国事項】</p>	1 実際の新聞の投書を読み、投書とは何かを知り、学習計画を立てる。（1時間）	B課題設定・学習計画	○◆マッピングでイメージを広げる。（個人→全体） ◆ブックトークをして、図書資料に興味をもたせる。	平和に関する図書	1「平和」をキーワードにマッピングを行い、ブックトークで興味関心を広げる。（2時間）	<p>○昨年度の平和学習を土台として、「外国とのつながり」という観点から日本と他国、他国同士のかかわりについて調べ、文章にまとめることができる。</p>	平和学習 part2 「外国とのつながり」（10時間）
				2 教材文の4つの投書について構成や書き手の意見を読みとり、書き方のポイントをまとめる。（2時間）	G新聞、電子メディア I情報の取り出し	〈個別学習→全体学習〉	世界地図、地球儀、新聞、雑誌、本	2 「外国とのつながり」で、自分が知っていること、見つけたことを友達に伝え合う。（2時間）		
				3 4つの投書の中から、自分が一番納得したものを選んで理由をまとめ、伝え合う。（1時間）	B課題設定・学習計画	○新聞の中から投書欄を見つけさせ、投書とは何かを知らせる。 ◆他校の児童が書いた投書を紹介する。	山陰中央新報ヤングこだま			
				4 読み手を納得させる工夫を考えて、構成メモを書く。（1時間）	J情報の整理	〈個別学習〉	世界地図、地球儀、新聞、雑誌、本	3 興味をもったことの中から個人の課題、投書に書くテーマを決定し、くわしく調べる。（3時間）		
				5 構成メモをもとに、400～600字程度で投書を書く。（2時間）	J情報の整理 kまとめ	◆投書を書く時の注意点を伝える。		4 自分の考え、理由、まとめを考える。（1時間）		
				6 投書を推敲し合う（1時間）	L発表・交流			5 ワードプロソフトを使って、文章を打つ。（2時間）		
					Kまとめ	○ワープロソフトを使って、行数・字数などを設定して打つ。				